

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 25 年度 第 8 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 12 月 18 日（水）19 時 00 分～21 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，宮崎，高城，中西，原田，鈴木，工藤，土橋，星野，蝶名林，佐藤，松村，小山
東海林監事，立花監事，出井役員選出委員

1. 理事行動報告

11 月 7 日（木）学会企画委員会	荒木，杉岡，佐藤，松村
11 月 14 日（木）地域保健共催部	原田，佐藤，多田
11 月 18 日（月）学術部会	小松，高城，中西，蝶名林，大野，杉岡，小山，多田
11 月 20 日（水）STI 予防委員会	佐藤，原田
11 月 21 日（木）データ標準化・精度管理・検査室認証委員会	千葉，中西，大野
11 月 22 日（金）編集委員会	高城，蝶名林
11 月 26 日（火）役員選出委員会	工藤
12 月 2 日（木）選挙管理委員会	鈴木
12 月 9 日（月）表彰選考委員会	工藤，千葉，小松
12 月 10 日（火）役員選出委員会	工藤

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度第 7 回理事会および第 8 回監理会議 の議事録内容確認

(2) 各部局報告

○支部

【報告事項】

<部長報告>

- ・支部以降に伴い幹事や研究班員の役割と人員構成について
支部化に伴い支部構成担当の各役割の具体的な方針決定が必要となる。任期の更新に伴い幹事の入れ替えが想定される支部は人員構成の把握が必要。
- ・学術部会への参加について
11 月 18 日開催予定の学術部会へ多田，小山，杉岡の支部長で参加した。支部で行う今後の研修会について，開催時期，内容について協議した。詳細は 2014 年 2 月頃までに支部内で調整する。
- ・施設連絡者会議開催に関して
社会保険中央病院にて 2 月 7 日に行う。1 月初旬に案内を配送予定。

<各支部報告>

① 東支部：公開講演について

テーマ「生活習慣病予防に向けて，血管年齢を理解しよう！」

日時：平成 26 年 3 月 1 日（土）14:00～

会場：タワーホール船堀 4 階研修室

講師：1)「生活習慣病予防・改善のための末梢血管血流測定」

太田 雅也 先生（株式会社フューチャー・ウエイブ）

2)「生活習慣病を理解する」（仮）

由良 明彦 先生（美穂診療所）

②西支部：特記事項無し

③南支部

・南支部 BBQ について：11 月 16 日午後 4 時～ 品川フィッシュガーデン 参加者 39 名

・公開講演について：ZUNBA 2014年2月8日（予定：場所は未定）

・組織学術合同研修会に関して

日時：平成25年11月19日（火）19:00～21:00 東京慈恵会医科大学附属病院

内容：色々な検査から発見！乳腺病変について

参加者：53名（会員36名，非会員17名）

④北支部：いたばし健康まつり 2013年12月11日（金）血管年齢 板橋区グリーンホール

⑤フォーラム委員会

・第13回都臨技フォーラムについて

日時：平成26年1月18日（土）15:00～18:30

場所：（株）堀場製作所 東京セールスオフィス

テーマ：『これが聞きたい!!チーム医療～救急医療！求められる臨床検査技師の役割と可能性～』

講師：①医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部 部長 大塚喜人 技師

②日本医科大学附属病院 中央検査部 柴田泰史 技師

③日本医科大学附属病院 高度救命救急センター 講師 新井正徳 先生

○地域保健共催部

【報告事項】

・10月26日に開催した「検査と健康展」の来場者数について，194名であった。

【検討事項】

1) 平成25年度第2回学生対象講演会について

テーマ：「臨地実習に向けた心構え～知らなくてはいけないこと・やるべきこと～」

開催候補日：平成26年1月25日（土）

開催場所：社会保険中央病院 4階講堂

講師：千葉副会長，林幹事

時間：14:00～16:30

会員：無料，非会員：1000円

案内状：12月上旬に発送

定員：200名（先着）

締切：12月28日

配布資料原稿締切：1月15日

司会：神保幹事

2) 平成26年3月卒業生への技師会PRについて

学生対象講演会案内と同時に発送することとする。

昨年同様，アンケート（卒業生人数・説明会役員派遣有無について）と，前年の配布物を同梱して発送する。

（減免入会・都臨技のみの入会案内については，12月監理会議にて実施及び案内をする方向で決定）

3) STI予防委員会

次年度予算案について

池袋エイズフェスへの参加

開催日及び開催場所：11月30日（土）10:00～15:00 中池袋公園

4) 次年度事業について

基本的には今年度と同様とする。今年度，公開講演会を開催していないので来年度は，実施する方向で検討する。都内技師養成校連絡者会議を開催し，学生対象講演会・学生会員・卒業生への技師会案内などについて，意見の交換を実施する場を設ける。

○学術部

【報告事項】

1) 前回議事録内容確認

2) 理事会報告

- ・10月31日現在の正会員数4,493名, 学生会員292名.
- ・中間監査報告が11月12日に行われ, 予算執行率が34%なので, 年間を通して90%以上になるよう研修会を開催する.

3) 編集委員会報告

- ・11月号会誌の発送が, 印刷直前に投稿論文の内容変更の要請があったために1週間程度遅れた.
- ・来年2月号の掲載予定
特集は一般検査研究班, シリーズは管理栄養士の立場から, 施設紹介は関東中央病院.
- ・来年5月号の現在決定している内容は, 特集が公衆衛生検査研究班, シリーズが臨床工学士の立場からを予定している.
- ・放射線技師会会誌の原稿について, 今月は病理で来月は輸血が担当になっている.

4) 精度管理委員会報告

- ・平成25年度都臨技精度管理調査は10月23日に資料を配布し, 参加施設数213(医療機関187, 試薬メーカー26), 調査の締め切りが11月15日に終了して, これから内容の解析を行う.
- ・日臨技精度保証認証施設に関するアンケート調査の結果, 11月1日現在回答数が46施設になっている.
- ・平成25年度日臨技精度保証認証制度の都道府県の受付期間は9月20日から始まり, 11月の20日締め切りで現在申請の受付を行っている.

5) 生涯教育委員会報告

- ・10月分として, 研修会8件, 自己申告4件の登録があった.

6) 学会関係

①第2回日臨技首都圏支部学会

- ・参加者806名(正会員754名, 非会員3名, 賛助会員49名)
- ・受付用PCの不具合で参加登録ができなかった会員がいる. このため, 日臨技ホームページで確認し, 登録されていない会員は連絡をいただく内容の案内を, 首都圏支部の施設と自宅会員に配布する.

②第10回東京都医学検査学会

- ・平成26年11月16日(日)日本教育会館で開催が決定している. 現在, 企画委員会で内容を検討中.
- ・基礎的な内容で, 研究班合同の企画を行ってもいいのではないかとこの意見が出されたので, 企画委員会に提出してもらう.

③第63回日本医学検査学会

- ・座長推薦の依頼が来ている. 輸血, 生理, 臨床化学がまだ未提出なので, 決まったら都臨技事務所にファックスする.

7) 学生会員の受付について

- ・入会申し込み用紙の事務局使用欄に, 会員番号が記入されていないケースがあったので, 必ず会員番号を記入するように受付担当者に徹底させる.

8) 日臨技生涯教育推進事業(助成金申請)

- ・採用になった研修会が現在13件と少ないので, 必ず今年度中に申請する.

【検討事項】

1) 支部での学術研究班活動について

来年度の運用について詳細を決める必要があるため, 支部長に参加していただき検討を行った.

- ・公衆衛生検査研究班, 情報以外の8研究班が各支部で1回行う.
- ・会場は支部で確保する.
- ・年間予定表の案を高城部長が作成して配信する.
- ・会場係は, 支部で手配する.
- ・行事予定表の原稿および生涯教育の行事登録・参加登録は支部で行う.
- ・各支部に所属する学術幹事の中から, 各支部の学術責任者を決め, この責任者に日臨技システムの学術権限を新たに与えることを検討する.
- ・支部で行う研修会は, 日臨技生涯教育推進事業の対象としない.
- ・研修会の名称を統一する必要がある.

- ・内容は研究班に任せるが、基礎的な事を中心に行う。
- ・最初は研究班から講師を派遣してもらうが、支部で講師を出す方向で検討する。
- ・予算は支部で計上し、その分を研究班の予算案から減らす。
- ・将来的には、学術も含めた支部に所属する幹事で、支部の行事を運営していく方向で検討する。
- ・顔も知らないで、いきなり来年度からの運営は厳しいので、今年度中に支部単位で、学術・組織のすべての幹事を集めた会議の日程調整をする。
- ・現在、職場住所が支部に所属する条件になっているが、自宅住所と職場住所のどちらかを選べるようにして幹事の数のバランスを考える事を検討する。
- ・今後、支部から学術幹事を推薦していただく事も考慮する。

○学会運営部

【報告事項】

- 1) 今後の学会準備について
第二回首都圏医学検査学会運営を通じ、今後の課題、改善点等を協議した。
- 2) 公開講演について
講演内容、講師、集客方法について協議した。
- 3) 教育講演について
会場数と講演の割り振りについて協議した。
学術研究班への依頼を検討中。
- 4) その他講演について
特別講演：中山 智祥 教授（日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科） ※依頼および承諾済み
- 5) 一般演題について
50 演題を目標に募集（うち、学生演題 5～10） ※学生演題発表者にはクオカード 1,000 円贈与を検討する。
- 6) 日臨技企画について
内容、講演依頼について協議した。
- 7) メーカー協賛について
①機器展示：展示場所、コマ数について協議した。
②ランチョンセミナーについて：メーカー候補、弁当必要数について検討した。
- 8) 懇親会について
会場、費用について協議した。
- 9) 健康展実施について
実施可否、会場、内容について協議した。
- 10) 実務委員について
必要人員、配置について協議した。

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成 25 年 11 月 30 日現在）
会員数 4,531 名（うち学生会員 286 名）
平成 25 年度賛助会員数 71 社
- ・平成 25 年度新春のつどい・各賞受賞祝賀会について
式次第および当日の役割分担を提示した。

○会計部

【報告事項】

- ・平成 25 年度 11 月の予算管理月報、他 3 表を作成し報告。
- ・11 月 30 日現在の会費収入状況報告

- ・11月のおもな事業活動収支について
 収入：データ標準化事業参加費
 支出：検査機器借用費，データ標準化事業試料郵送費用，管理費
- ・管理費予算超過について
 代議員選挙費用により通信運搬費の予算超過となるが，管理費総額の超過額良総額と他の事業費超過額の合計が予備費金額に収まれば補正予算案を作らないこととした。
- ・第3四半期会計集計
 予算執行状況の把握が必要なため，会計担当者に会計簿エクセルファイルの提出を求めることとした。
 (H25.12末日会計簿)
 提出期限の徹底を図るため，所管理事の協力を求めることとした。なお，終了した事業については速やかに会計報告，残金返還を求めることとした。

○事務局

【活動報告】

<11月～12月9日までの事務局の主な活動>

- ・中間監査の当日準備
- ・第63回日本医学検査学会一般演題座長候補者リストのとりまとめ，および担当（新潟県）技師会への送付
- ・代議員立候補届け用紙の到着数カウント
- ・精度保証認証制度に関する申請書類のとりまとめ
- ・他団体からの「賀詞交歓会」のとりまとめ
- ・技師養成学校からの卒業式，入学式への会長出席依頼のとりまとめ（昭和医療技術専門学校）
- ・学生会員リスト作成（昭和医療技術専門学校生236名＋研修会・学会等での入会56名分）
- ・一般会員および賛助会員，他団体・各賞受賞者への「新春のつどい」のご案内発送

<中間監査>

11月12日(火) 18:30～20:00に都臨技事務所内でおこなった。（詳細は報告書を参照ください）
 なお，その監査報告が東海林監事よりなされた。

【その他】

- ・当会名誉会員下杉彰男氏の奥様が12月2日にご逝去された。現在の当会慶弔規程には外れるが弔電対応とした。

(3) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

1) 平成26年2月号入稿

- ・特集：一般研究班，入稿済み。
- ・シリーズ：「他職種から検査技師に知っていて欲しい知識」栄養士の立場から，入稿済み。
- ・施設紹介：関東中央病院 → 入稿済み
- ・会長の年頭あいさつ入稿予定
- ・議案書の入稿予定なし
- ・第10回東京都医学検査学会案内，入稿予定

2) 次号以降のシリーズについて

- ・臨床工学技士，投稿了承済み。

【検討事項】

1) 次年度会誌の色について

- ・永間氏より，色見本の提出
- ・写真を活用した表紙デザインが提示された。
- ・会誌名を英文にした見本あり
- ・「都臨技医学検査」の名称を漢字で入れてはどうか？
- ・今回の意見を踏まえて，修正案を理事会に提案する予定。（現状表記も同時に進める）

2) 2月会誌の原稿投稿締切日時

- ・年末年始のため、早めの投稿提出をお願いする。東広社（永間氏）より 12/6 までに投稿，12/24 校正，1/10 までに再投稿で掲載可能

3) 研修会の要旨・記録表記

- ・会誌に掲載する際、生涯教育点数が必要か検討する。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（11月）
都臨技研修会 15件 登録者数 850名
- ・申告 会場研修 7件 登録者数 45名

○STI委員会

【報告事項】

- ・特になし

【検討事項】

①池袋エイズフェス準備

- ・景品に使用する飴の袋詰め（100個）
- ・クイズ用紙とその裏面に記載する文章（STIの予防啓発＋臨床検査技師の簡単な紹介）の検討
- ・ゲームで使用するボードの加工
- ・11月24日15:00～エイズフェス参加団体の顔合わせを実施 参加者：上前泊，中山，森

②リーフレットの検討

リーフレットに記載するテキストの検討を行った。デザイナーには12月中旬頃までに初稿を作成してもらい、最終原稿は1月末までに完成させる。

③都臨技HP内の委員会ページの充実

リーフレット改訂に伴い、都臨技HP内の委員会ページの充実を図る。STIの種類、症状、検査と治療方法など、リーフレットに記載しきれない詳細な内容についてHP上で情報提供を行う。担当者を中心にページの構成等を検討し、今年度中の完成を目指す。担当：水野，上前泊

④来年度委員会事業計画の検討

継続事業（STI予防教室、池袋エイズフェス等）の他、下記の事業について提案があった。

- ・公開講演会
STI診療の専門医（新宿さくらクリニック 澤村先生など）に講演を依頼し、一般市民を対象に行う。聴講者を集めるにはSTI以外のテーマと合わせて企画する必要があるか。
- ・会員向け研修会（支部・STI委員会合同）
会員に対するSTIの情報提供を行う。テーマは最近のSTIのトピックス的な内容、HIV感染者サポートなど。患者支援に関わるNPO等、他団体の方に講演を依頼することも検討したい。支部と合同で企画し、予算は支部予算から支出する。
- ・神奈川エイズフォーラムへの参画
再来年度の参画を見込んで、来年度は見学のみにとどめる。
- ・街頭活動（コンドームの配布）
今年度の首都圏学会で特に学生を対象に予想以上の数のコンドームを配布することができた。昨年度、コンドームの配布は街頭活動には不向きであると考え、絆創膏を配布したが、来年度は試験的にコンドームの配布を実施したい。候補地：中野，吉祥寺，八王子等，比較的の学生，若者の多い中央線沿線
- ・都臨技HP内の委員会ページの定期更新を行う。
- ・その他の事業案について
池袋エイズフェスに参加する他団体の企画も参考に検討し、12月末までに事業案および予算案を決定する。

○データ標準化・精度管理・検査室認証委員会

【報告事項】

1) 平成 25 年度都臨技精度管理調査について

参加施設数 総数：213（前年度：191）

医療機関：187（170）

試薬メーカー：26（21）

集計作業および試料由来と思われる問題点について協議した。データ報告会は2月27日（木）を候補として実施することとした。

2) 日臨技精度保証施設認証制度に対するアンケート調査について

11月1日現在 回答数 46施設（回答率：46/170前年参加施設）

回答施設数および認証未施設の割合が少なかつたため、未回答施設に対し再度調査依頼を実施する。

3) 日本臨床検査技師会標準化事業について

検査値標準化事業委員会における現状での取り組みおよび、今後の施策について荒木委員長より報告があった。

- ・多項目精度管理試料事業化
- ・血液形態標準化活動
- ・標準化、施設認証助成金扱いについて
- ・免疫ハーモナイゼーション
- ・基幹施設の認証の扱い
- ・基準検査室について
- ・支部学会で精度保証セミナーの取組
- ・SOPについて

4) 平成 25 年度日臨技精度保証施設認証制度について

都臨技所属施設申請数 17施設

（東京都審査認証施設数 7施設：書類不備等による再提出依頼施設数 10施設）

5) 凝固検査精度管理調査について

実施案を検討中。（1月下旬～2月中旬：標準化委員施設、血液研究班幹事施設で先行調査実施）

○役員選出委員会

【報告事項】

- ・次期役員候補者からの承諾書の受理作業を進行中である。また今後の役員の選出および選挙の方法を検討中である旨報告。

【検討事項】

1. 次期役員候補者

承諾書未着の方が3名おり、提出の連絡をお願いした。

2. 次期役員欠員1名の選定

次期役員候補者で辞退の申し出があったため、役員候補者1名を追加推薦した。萩原委員長が直接本人に打診する。12月理事会に候補者名簿を提出したい。

3. 役員選出規程（案）の検討

佐野委員が作成し井出委員が訂正した規程案について、実際に選挙を実施するにあたっての流れを検討したところ更に規程案の訂正が必要になった。検討の結果以下の事を規程案に盛り込むこととした。

- ①理事候補は各支部の代議員の中から選挙を実施し各支部4～6名選出する。
- ②監事3名のうち2名は選挙を実施し、会員以外の監事は理事推薦とする。
- ③会長の選出法（通常では互選にて選出）。

今後はメールにて審議し、案がまとまり次第理事会に提出予定とする。

○選挙管理委員会

1) 平成 26・27 年度代議員立候補者等の現況報告

12月2日現在、把握している各支部候補者数は、東支部13名、北支部10名、南支部12名、西支部13名。

定数に満たない事象に関しては理事会に上申する。

2) 代議員選挙の投票用紙・封筒等の最終レイアウト

- ・発送用封筒について都臨技マークの印字を行う。印刷色は早急に検討する。
- ・「選挙管理委員会委員長の印」の印鑑をヤマモト企画に作成依頼する。また、以降この印を投票用紙に捺印

(印刷) する。

- ・ 発送封筒の色は、黄色にて4支部統一し、返信用封筒ならびに投票用紙は、東支部・緑、北支部・ピンク、南支部・グレー、西支部・青とする。また、両封筒には“投票用紙在中”の文字を黒色印刷する。
- ・ 返信用封筒の後納有効期限について、平成26年1月21日以降に投函されたものも料金が発生する。消印がつかないため、遠方からの投函に関しては記入日等も考慮し受け取る方針とする。
- ・ 最終レイアウトはヤマモト企画よりサンプルを各選挙管理委員に配布してもらい確認する。

3) 同封文章・候補者一覧について

- ・ 同封文書の変更点について討議し、会員宛郵送、同封の名簿記載候補者、所定の投票用紙など修正・変更した。

○その他

原田常務理事より、日臨技主催の「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成 企画担当者講習会」への参加報告がなされた。

平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知（医師及び医療関係職事務職員等との間等での役割分担の推進）をうけ、チーム医療推進の観点から、検査説明・相談ができる臨床検査技師を多数育成することが求められていること。本講習会は、検査説明・相談のできる臨床検査技師の育成に向け、平成26年度から各都道府県で開催する講習会の企画担当者を育成するためのものである。臨床検査の専門職種である臨床検査技師として、患者に向けた検査説明と医師および看護師の業務負担軽減を進めることで患者へのサービス向上に取り組むことを目的としている。

3. 審議事項

○学術部

- ・ 都臨技データ標準化委員会荒木委員長より、都臨技印の陰影ファイル対応願い書が提出された。

使用目的は、東京都精度管理調査に対する参加施設への請求書ならびに領収書への捺印であり、その概要は以下の通りである。

- 1) 日臨技精度管理調査参加施設は、サイトより見積書、納品書、請求書および領収書が日臨技の公印付きでダウンロードし、印刷が可能となっている。都臨技調査においても日臨技と同様にJAMTQCシステムを利用しているため、同機能を活用し効率化を図りたい。
- 2) 都臨技調査参加施設には、公立医療機関の参加が多く、公印が捺印された文書での対応が必須とされ、事務員の対応が煩雑化されている。

審議した結果、ファイルを暗号化するなど悪用されないよう工夫した上で承認された。

- ・ 検査研究班運営規程細則（制定平成25年5月15日）について、一部修正のうえ提出され、審議された結果承認された。新規細則の改正日は平成25年12月18日。施行日は平成26年3月1日とする。

○庶務部

- ・ 新入会12名が提示され審議の結果、承認された。

○事務局

- ・ 事務員の厚生年金保険・健康保険の加入について

日本年金機構（南関東ブロック本部）より「常時従業員を使用する法人事務所には厚生年金保険・健康保険への加入を義務付けているので、平成26年1月31日までに加入手続きをおこなうこと。期限までに届出の確認が取れない場合は、後日、日本年金機構の職員が直接出向くことがある」との連絡が書面であった。

山木事務員および天野事務員について、相談し、対応することとする。

4. 特別講習会実施許可願い書および共催許可願い書について

- 生理検査研究班より特別講習会実施許可願い書が提出され、審議の結果、承認された。

講演名：神経生理検査技術講習会

期 日：平成26年2月22日（土）13:00～18:30

会 場：東京通信病院 管理棟5階 小講堂

講 師：杉山 邦男 技師（東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部）他2名

○輸血検査研究班より共催許可願い書が提出され、審議の結果、承認された。

講演名：海外のトピックスと論文の読み方

期 日：平成26年2月5日（水）

会 場：社会保険中央総合病院 4階講堂

講 師：半田 誠 医師（慶應義塾大学病院 輸血・細胞療法部）

○西支部より共催許可願い書が提出され、審議の結果、承認された。

講演名：コミュニケーション力の威力

期 日：平成26年2月28日（金）

会 場：三多摩労働会館 3階 大会議室

講 師：吉田 輝倫 氏（アボットジャパン株式会社 セールス&トレーニング室）


平成25年12月18日（水）

公益社団法人東京都臨床検査技師会

議 長
（下田）

下田 勝二 

監 事
（東海林）

東海林 治三郎 

監 事
（立花）

立花 勇一 